

ファッション事業部始動！！

生地を取り扱い開始



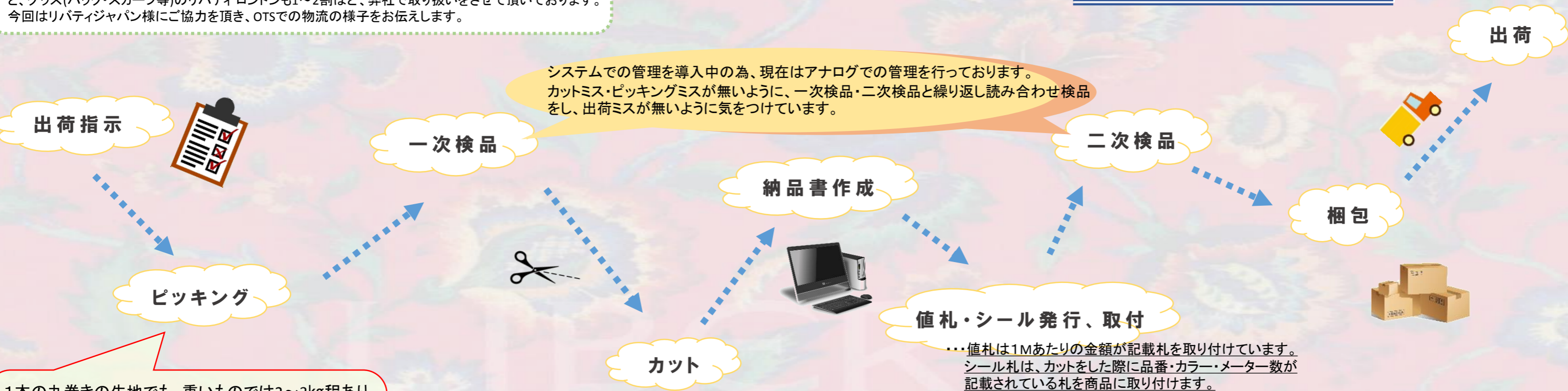
Open Talks!

今まで既製品を中心に取り扱いしているOTSですが、2017年2月より新たな取り組みとなる生地取り扱いを新砂センターで開始しました。それに伴い、新砂センターEC事業部はファッション事業部へと変わりました。少しでもお客様のご要望に沿えるよう、OTSならではの工夫を凝らし、日々取り組んでおります。今回はリバティジャパン様にご協力を頂き、新しく変わったファッション事業部と進化を続けるジュエリー事業部2本立てでご紹介いたします。

リバティジャパン様とは？

英国リバティ社が保有するプリントデザインを使った国産生地製造および大手アパレルメーカー様や生地小売店様への卸売をされているブランドです。生地取り扱いを中心としたリバティ・ファブリックスと、グッズ(バック・スカーフ等)のリバティロンドンも1~2割ほど、弊社で取り扱いをさせて頂いております。今回はリバティジャパン様にご協力を頂き、OTSでの物流の様子をお伝えします。

～出荷までの流れ(一例)～



1本の丸巻きの生地でも、重いものでは2~3kg程あり、一人で運ぶにはかなりの重量があります。一度に数本の生地をピッキングする為、一つ一つ運ぶのにも移動がかなり大変です。その為、円滑に業務がまわるようピッキングカートを作成するなど、日々、工夫をこらしています。

リバティジャパン様の運用をスタートした当初、注文をいただいた生地の長さをメジャーで測定・カットをし、カットした生地を紙管に巻きつける作業を手作業で行っていました。この工程を、注文いただいてから全て手作業で行っていた為、多くの時間と手間がかかっていました。5月末に裁断機を導入したことにより、手作業のときのおよそ半分以上の時間短縮が見込まれています。パディさん(※)が裁断機を使えるよう徐々にレクチャーをしている為、まだまだ手作業と機械との両立が必要ですが、今後は機械を中心に稼働し、業務の時間短縮をはかります。

※OTSではパート従業員の方々のことを愛着を持ってパディさん(パートレディの略)と呼んでいます。

★ 半折機も導入しました!! ★



ピッキング風景



ピッキングカート



手作業での測定・カット



裁断機の使用風景



半折機とは、1本の丸巻きの生地を自動で半分に折り、紙台紙に巻きつける機械です。皆様も手芸洋品店で見たことはないでしょうか？機械を使用しているとはいえ、きれいに巻くのにはかなりのテクニックが必要です。現在は半折機の職人さんに依頼をしておりますが、今後はOTSで対応出来るよう、練習を重ねております。

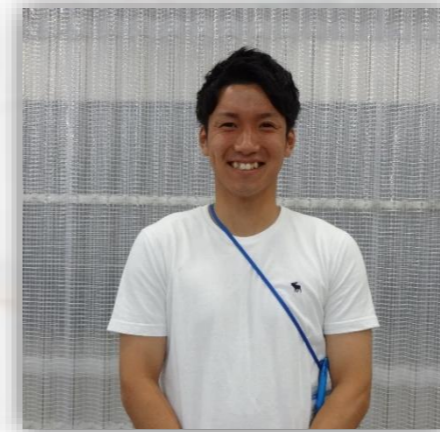
OTSってどんなところ？～リバティジャパン様編～

Q OTSを選んでいただいた理由は？

A 貴社とお取り組みをさせて頂く最大の理由は、変化を恐れず常に挑戦する姿勢に共感しているからです。偏見かも知れませんが、物流の会社は変化や新しいやり方などを好まないという印象を受けます。お客様の商品を預かるということで、今までうまくいっていたやり方を変えることへのリスクもあると思いますが、貴社は変化や新しいことを楽しんでいるように感じます。

Q これからの物流に望むことはございますか？

A 個人的な意見になるかもしれませんが…取引先の要望を聞くことはとても大切なことですが、一担当者としてはもっと提案型の物流があっても良いのではないかと思います。多種多様な商品を扱うプロ集団ですので、多くのノウハウをお持ちだと思います。【モノ】だけにフォーカスをするのではなく、例えば“物流担当者が1人しかいない会社”にはこんなやり方が向いているなど、【人】や【状況】にフォーカスした提案をして頂けたりすると、ただの取引先という関係だけでなく“チーム”という気持ちで取り組んでいけるのかな…と思います。今の“チーム”はそれに近いと思います。



OTS現場担当者へのインタビュー

Q アパレル商品と生地取り扱いの違いは？

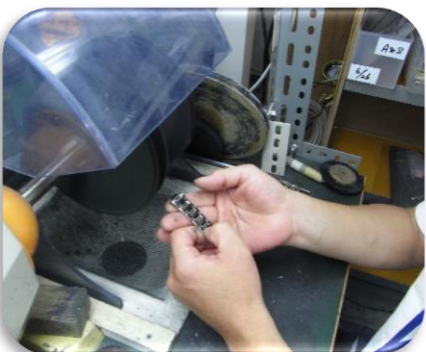
A アパレルは既製品を在庫からピッキングし、小売店や消費者様へ出荷をしますが、生地の場合はアパレルメーカー様への出荷がメインで、生地小売店様への出荷も行っています。注文いただいた生地を指定の長さにカットをして出荷し、余りの生地は残りのメーター数を記入の上で 再度在庫として管理をします。同一の柄が在庫として何本もあり、その中から計算をしてカット・メーター管理をする為、管理が非常に難しいと実感していますが、とてもやりがいがあります！

今回この記事を作成する為にご協力いただきましたリバティジャパン様、お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございました！既存のお客様にも、新しいお客様にも、OTSの物流をもっとご活用いただければ幸いです。

新砂センターではジュエリー修理工房を構え、現在20社以上の販売前の不良品修理を承っております。お客様修理をやりたがらない業者は多いのですが、OTSでは販売後のアフター修理にも対応しております。ジュエリーからアパレルメーカー様のコスチュームジュエリー衣類のジッパー、バッグ、ベルトまで幅広く取り扱っております。また他社では修理不可となるハンダ溶接などの依頼も増加傾向にあり様々な修理に対応できるよう、レーザー溶接機やUV接着機等の機材も取り揃えております。

時計修理
はじめました

OTS修理はただ修理をするだけではありません。例えばネックレスの金具を紛失してしまった場合、類似のパーツを探したり、金具が留めやすいように仕様変更を行う等、お客様のご要望に対応致します。ジュエリー修理に限らず、時計のブレスレットベルトの研磨、時計修理機材も現在準備中です。実はジュエリー素材より時計のステンレスブレスレットの方が扱いやすく、修理のプロによる研磨は本当に綺麗なんです！



ベルトの研磨

なんとトライアル1号として、OTS田中社長にご協力頂きました！既にトライアルで数社対応させて頂きましたが、早くもお褒めの言葉を頂いております。OTSは痒いところに手が届く！お客様に手を差し伸べられるそんなところなので、修理でお困りの際は、是非OTSにご相談ください。



修理途中の社長時計

Open Talks !



初心者向け♪楽しいお山ランキング

皆さん、今年の夏休みの予定はもう決まりましたか？
今月は新砂センター渡部さんに取材、この夏オススメのお山を教えてくださいました！
今回紹介するのは都内からのアクセスも良く、初心者の方でも楽しめるお山ばかりです。

1 日光白根山

ロープウェイを利用して、標高2,000mまで一気に登ることが出来ます。あとは600mほど自力で登れば、山頂です。標高1500m以下の山とは全く違う景色に、テンションが上がること間違いなしです。標高差も然程無いので登りやすく、関東から日帰り可能。日光エリアで働いている方々の絶妙なアットホーム感や、お客様をもてなそうという意識が高いところもポイントです。さらにオススメなのは、2,000m地点に広々とした無料の足湯があること。こんなに至れり尽くせりのお山があるなんて...！とはいえ、山頂付近は足場も悪く、夏でも涼しいので、しっかりと装備して臨んで下さい。

2 神奈川県・大山

このお山の魅力は、新宿から1時間30分程で行けるアクセスの良さと、紅葉が素晴らしいところ。純粋な赤の美しさだけ見れば、京都の紅葉にも負けにくいくらい綺麗です。こちらケーブルカーで紅葉スポットまで登ることが出来、休憩場所(まさかのカフェ)も広く綺麗で、秋にオススメのお山です。歩行時間が3時間30分ほどなので、休憩時間を長く取ることができ、山頂で調理などしても暗くなる前に下山できます。高尾山並みに混雑するお山なので、行楽シーズンは時間に余裕を持って登って下さい。

3 鎌倉・天国ハイキングコース

ベストオブ入門編じゃないでしょうか。建長寺からスタートするのがオススメです。高尾山以下の標高差で、程よく山道、程よくアップダウン、程よく自然が楽しめます。途中でロープ場があったり、やたらお酒の種類が豊富な茶屋があったりと、バラエティにも富んでいます。未就学児からお年寄りまで歩いているので、健脚な家族、また、ご朱印が沢山集まるルートなので、ご朱印ガール、ボーイにもオススメです。ルートの大半が日陰で、滑り易い道も多いため、雨の降った翌日や雨季、雪の降った後などは、晴れていても避けた方が安全です。